

LEQ 集団活動プログラム《LEQサーキット》

タイトル	LEQサーキット
大ジャンル：	運動
中ジャンル：	レクリエーション
小ジャンル：	レース
使う道具：	リング・バランスストーンなど
場所	室内
人数	1-
内容	室内に少し短めのバランスストーンやリングなどを用いてコースを作成しゴールを目指すプログラム

5 領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
○	○	○	○	○

【 流れ (20分) 】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>事前にコースを作って準備しておく</p> <p>活動の始まりの挨拶 挨拶時には正座をする 「今から活動を始めます。礼。」 滑る可能性があるため靴下は脱いはだしでおこなうように声を掛ける</p> <p>ルール説明 コースは一人ずつ順番に行く。 順番が来るまではは応援をしたり、座って見ているように伝えておく</p> <p>怪我につながる恐れがあるため、順番が来るまでは立ったりコースには近づかないように伝える</p>	<p>始まりの挨拶時や説明時の姿勢がしっかりとできているか</p> <p>説明中は私語をしていたり立ったりしていないか。</p>	<p>挨拶時は正座ができているか。正座ができいない場合は声を掛ける</p> <p>ルール説明はの際には座って聞くように声を掛ける。質問は説明後にしてもらうように伝える。</p>

05:00	<p>順番にコースに挑戦してもらおう</p> <p>ゴールしたら次の児童に挑戦してもらおう</p> <p>もし途中で躓いたり、バランスストーンで落ちてしまった場合はそこから再開するように伝える。</p> <p>一人2-3周順番に行っていく</p>	<p>順番を待っている児童がコースに足を出したり、コースに近づいたりする</p> <p>壁や窓に寄りかかったり、私語をしたりしていないか</p> <p>途中でもうできないと諦める</p>	<p>コースに入ったりすると本人やレースをしている児童の怪我の恐れがあることを注意する</p> <p>窓や壁に寄りかかったりせずにきちんと座るように声を掛ける</p> <p>特に窓に寄りかかると怪我の原因になることを伝える</p> <p>手を添える等のサポートを行い一緒にゴールに行けるようにサポートを行う</p>
17:00	活動のまとめ、感想	<p>他の児童が話してる時に聞いているか</p> <p>寝転んだり、壁に寄りかかったりしていないか</p>	<p>今日の活動を振り返ってどうだったかの感想を児童に聞いていく。</p> <p>その際に姿勢や私語をしている場合は話している児童やスタッフの話聞くように声を掛ける</p>
20:00	<p>活動の終わりの挨拶</p> <p>「これで活動を終わります。礼。」</p>	<p>挨拶時には正座をしてもらう。</p> <p>正座をしているか私語をしていないか</p>	<p>挨拶時は手を足の上に置き正座をするように声を掛ける。</p> <p>私語や正座をしていない児童がいる場合は声を掛ける</p>

【実施のポイント】

- ・児童のスキルや年齢に合わせたコース設定を行う
→クリアできたときの達成感を持ってもらうためにクリアできる難易度にする
- ・児童の興味関心を高められるように声掛けをする
→モチベーションの維持を保てるようにする

【アレンジパターン】

- 1、2つのコースを作り二人ずつ挑戦する
人数が多くいる場合はよりたくさん挑戦してもらうために短めで2つのコース二人同時に挑戦する
- 2、コースのパターンを変えて挑戦する
→人数が少ない場合一度の活動でコースを作り変えていろんなコースを挑戦してもらう